

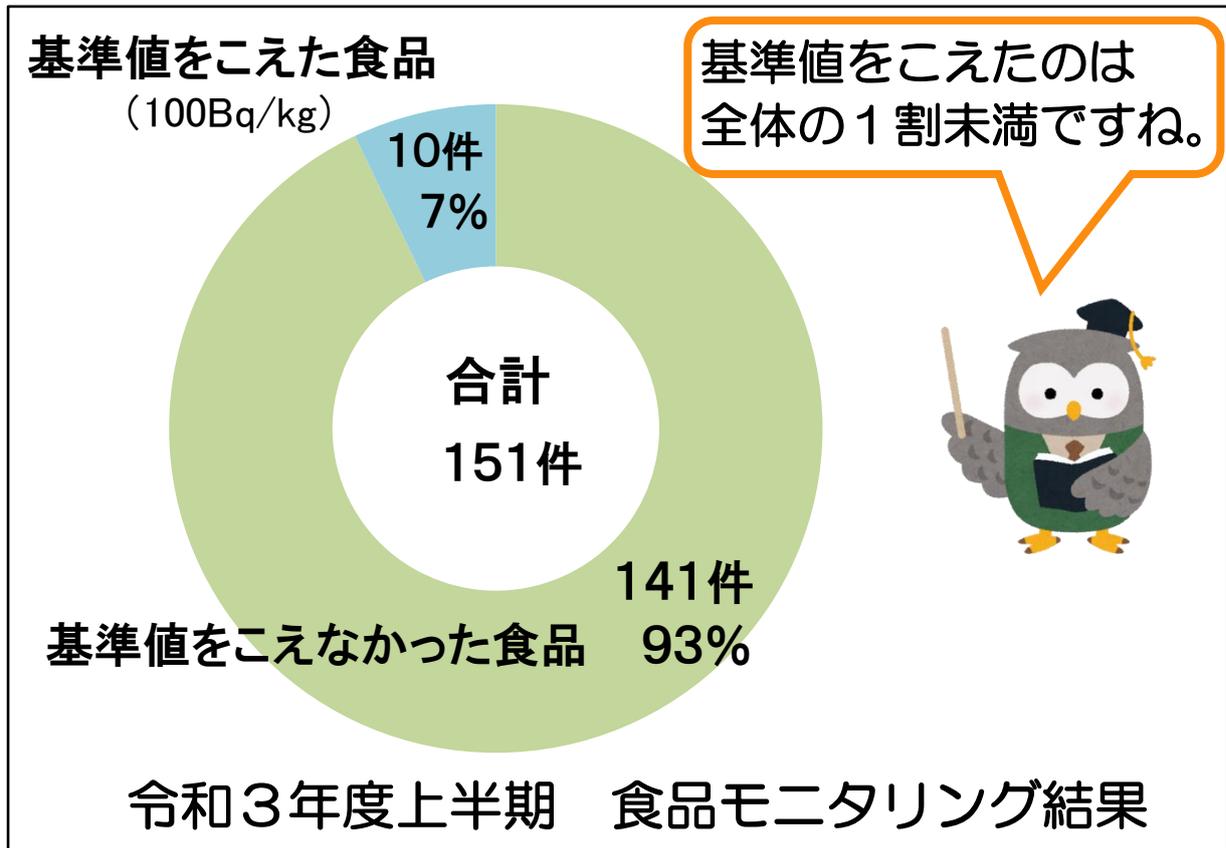


放射線相談室だより 82号 令和3年10月15日

1

本年度上半期の食品モニタリング結果について

今回は、今年の4月から9月に実施した食品モニタリングの結果についてお知らせします。



4月から9月の6か月間で151件の食品モニタリングの依頼がありました。

モニタリングの結果、放射性セシウムの値が基準値をこえたのは、151件中10件でした。

各月ごとのモニタリング検査依頼数と放射性セシウムの値が基準値を超えた件数をみてみましょう。

月	山菜・きのこ	野菜	果物	根菜・芋類	その他	合計
4月	26(7)	4	0	-	10(1)	40(8)
5月	7	13	0	1	0	21
6月	0	7	21	7	0	35
7月	0	12	0	-	0	12
8月	0	9	6	2	0	17
9月	1	5	17(2)	3	0	26(2)
合計	34(7)	50	44(2)	13	10(1)	151(10)

※()内は、基準値を超えた件数

基準値をこえた食品が10件ありました。そのうち7割が山菜・きのこ、2割が果物で残りは茹でたタケノコ（155Bq/kg）でした。野菜では基準値をこえたものはありませんでした。

基準値をこえたものは、

- ・「たけのこ生」2件（検査数10件）、最高値 303 Bq/kg
- ・「しいたけ」2件（検査数2件）、最高値 240 Bq/kg
- ・「ぜんまい」1件（検査数2件）、最高値 272 Bq/kg
- ・「たらの芽」1件（検査数4件）、最高値 251 Bq/kg
- ・「わらび」1件（検査数6件）、最高値 200 Bq/kg
- ・「栗」2件（検査数12件）、最高値 122 Bq/kg
- ・「たけのこ茹」1件（検体数10件）、最高値 155 Bq/kg

山菜・きのこや栗は基準値をこえる物もありますが、基準値以下のものもあります。食べる前に測定することで安心して旬の味覚を楽しむことができます。

食品のモニタリング結果総括表

(令和3年9月実施分)

【基準値】: 一般食品 100Bq/kg 牛乳・乳幼児製品 50Bq/kg 飲料水 10Bq/kg

規制のない食品	検査数	基準値未満	基準値以上	備考 (基準値以上の品目)
野菜	8	8	0	
根菜・芋類	—	—	—	
山菜・きのこ	1	1	0	
果物	17	15	2	栗
穀類	—	—	—	
種実類	—	—	—	
魚介類	—	—	—	
加工食品	—	—	—	
飲料水	—	—	—	
その他(肉類など)	—	—	—	
総検査数	26	24	2	

食品モニタリング結果の詳細については、公民館1階の放射能簡易分析センターと放射線相談室に置くほか、広野町ホームページに掲載しますのでご利用下さい。

右のQRコードを読み取ったあと、東日本大震災復興関連情報→放射線量・除染関連→放射線量情報の項目の中の「食品モニタリング」をクリックしていただくと見ることができます。



場 所 公民館1階 放射能簡易分析センター
 曜 日 月曜日から金曜日(祝日を除く)
 受付時間 午前8時30分～午後4時30分まで

広野町各地区の放射線量

令和3年10月11日13時30分現在(天候:晴)の町内各地区代表的な個所のモニタリングポストの数値をお知らせします。

測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)	測定箇所	放射線量率($\mu\text{Sv/h}$)
広野小学校	0.08	広野町役場	0.09
広野中学校	0.08	高速バス利用者駐車場	0.14
広洋台地区集会所	0.10	上田郷橋付近 ^{注1}	0.11
ニツ沼公園 ^{注2}	0.07	北沢複合交差点	0.14
長畑地区集会所	0.12	県道広野～小高線沿	0.13
小滝平浄水場 ^{注2}	0.07	仮置場	0.11

注1 平成29年3月設置

注2 ニツ沼公園、小滝平浄水場のモニタリングポストは現地ではnGy/h(ナノグレイ毎時)で表示されていますが、 $\mu\text{Sv/h}$ (マイクロシーベルト毎時)に換算して掲載しています。

広野小学校の児童が放射線について学びました。

10月6日（水）、7日（木）に福島県立医科大学の佐藤久志先生と一緒に放射線について学びました。

1・2年生は、紙芝居2編を担当の先生に読んでもらい、震災での発電所事故で放射線が出てしまったこと、被ばく線量の低減するための方法について学びました。

3・4年生は、公民館内にある食品放射能分析検査センターを見学しました。自家用食品の放射線検査がどのように行われているかを知りました。また自分たちの給食も給食センターで毎日食材の検査が行われ安全性を調べてから給食に使われていること知りました。

5・6年生は、校庭内の地点の空間線量率を自分たちで測定しました。毎年少しずつ値が下がっていること、事故前から放射線が飛んでいること、身の回りで医療、農業、工業の分野で利用されていることも学びました。

どの学年児童も、放射線は目に見えないが身近にあること、放射線は正しく知り正しく怖がることを知りました。



(3年生の様子)



(5年生の様子)

発行者

広野町健康福祉課 放射線健康相談室 0240-27-2113